様式２

平成29年度　美幌版総合戦略に係るH28事業実施結果報告

（各事業における実績額及び事業効果等）

基本戦略3

No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額		③ 本事業における重要業績評価指標（KPI）					④ 本事業前の実績値	⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 事業効果（⑤）の評価理由（具体的に）※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由（原因）等についても記載願います	⑦ 事業費総額（①）の内訳 ※「〇〇委託料：〇〇円」等の内訳を記載願います	⑧ 指標値に対するH28実績値の内容	⑨ 外部有識者からの評価		⑩ 実績値を踏まえた事業の今後について	
			過年度	実績額	指標		指標値	単位	目標年月	H27実績値	H28実績値	事業効果				事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
			後年度	予算額															
4	妊婦一般健康診査費等補助事業	妊産婦の心身の健康の保持及び家庭の経済的負担の軽減を目的に、妊娠に係る健康診査及び出産のため町外の医療機関に通院する交通費を助成（1,080円/1回、15回を上限）	H27年度	1,419,120	指標①	妊婦一般健康診査等交通費補助人数	115	人	H29.3	123人	110人	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	出産に係る費用を助成することにより、妊産婦家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援が図られた。 (実績値が指標値を下回った理由) ・出生数が想定より減少したため。	妊婦一般健康診査等交通費補助金：1,327,320円	申請者数　110人 補助対象回数　健康診査 1,133回／出産準備 96回	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	妊娠のリスクがあって、札幌や旭川の病院に行かなければならないなどの特殊な事情については、交通費と特殊な部分にかかる医療費の助成を創設して欲しい。	事業の継続	今後も引き続き補助対象者に対し制度の周知をすることで、今までどおり対象者全てが申請するよう~~申請漏れの無いよう~~事業を進めていく。
					指標②														
			H28年度	1,327,320	指標③														
			H29年度	1,815,000	指標①	妊婦一般健康診査等交通費補助人数	111	人	H30.3										
5	産後1ヶ月健康診査補助事業	母子の心身の健康の保持及び対象となる家庭の経済的負担の軽減のため、産後1箇月健康診査を受診するための費用及び受診に要する交通費を助成（5,000円）	H27年度	0	指標①	産後1箇月健康診査補助人数	107	人	H29.3		104人	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	産後1箇月の健診に係る費用を助成することにより、対象家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援が図られた。 (実績値が指標値を下回った理由) ・出生数が想定より減少したため。	産後1箇月健康診査補助金：520,000円	申請者数　104人 補助対象回数　104回	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	上記の事業と同様、産後も札幌や旭川の病院にいなければならないなどの特殊事情に対して、助成制度を設けて欲しい。	事業の継続	H28年度より開始された事業である。今後も引き続き補助対象者に対し制度の周知をすることで、今までどおり対象者全てが申請するよう~~申請漏れの無いよう~~事業を進めていく。
					指標②														
			H28年度	520,000	指標③														
			H29年度	650,000	指標①	産後1箇月健康診査補助人数	104	人	H30.3										
6	医師確保対策事業	民間の医師紹介サイト等を活用することで常勤医師の招聘を行い、医療の充実を図る。	H27年度	1,186,000	指標①	小児科医・産婦人科医	2	人	H29.3	1	1	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	産婦人科医が全国的に不足しており招聘は困難であるが、引き続き取り組みを行う。	医師募集広告掲載料80千円 医師募集サイト広告掲載料1,126千円 医師紹介手数料（2名）12,785千円	小児科常勤医師：1名	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）		事業の継続	
					指標②														
			H28年度	13,990,897	指標③														
			H29年度	2,375,000	指標①	小児科医・産婦人科医	2	人	H30.3										
7	エンゼルサポート120事業	乳幼児を扶養している子育て世帯の保護者に対して、美幌町指定ごみ袋を支給することにより、世帯の経済的負担を軽減し、子育てを支援	H27年度	61,000	指標①	エンゼルサポート120事業支給者数	137	人	H29.3	137人	131人	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	乳幼児を扶養している子育て世帯の保護者に対して、美幌町指定ごみ袋を支給することにより、世帯の経済的負担を軽減し、子育ての支援が図られた。 (実績値が指標値を下回った理由) ・出生数が想定より減少したため。	エンゼルサポート120事業用消耗品：51,030円	申請者数　131人 支給枚数　14,600枚	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）		事業の継続	今後も引き続き補助対象者に対し制度の周知をすることで、今までどおり対象者全てが申請するよう~~申請漏れの無いよう~~事業を進めていく。
					指標②														
			H28年度	51,030	指標③														
			H29年度	124,000	指標①	エンゼルサポート120事業支給者数	132	人	H30.3										
8	子育て支援対策事業	0歳児から2歳児までの民間保育所利用者に対し、保育料(町立保育所との差額分)を支援。また、平成28年度から更に多子軽減も実施し支援の拡大を行う。	H27年度	7,117,300	指標①	保育料利用負担軽減者数	50	名	H29.3	33	48	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	民間保育所に通所している低年齢児(0～2歳児)及び多子世帯の保護者に対し、保育料の負担軽減のため助成したことにより子育て支援対策の充実が図られた。	民間保育園利用者補助金　13,849,300円	保護者48名(48世帯)	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）		事業の継続	町内全ての保育所においても多子軽減を実施しているが、今後も継続して実施し子育て支援を進める。
					指標②														
			H28年度	13,849,300	指標③														
			H29年度	17,832,000	指標①	保育料利用負担軽減者数	50	名	H30.3										
			H30年度	0	指標①														
9	地域子育て支援センター事業	乳幼児の保育に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、子育てサークルへの支援等を行う。	H27年度	3,646,428	指標①	利用者延べ人数	8,000	名	H29.3	8,454	7,844	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	少子化の影響等で利用者数は減っているものの、センターの各種行事や育児相談、利用者が必要な情報の提供及び助言を行うことで、地域の子育て支援センターとしての役割は果たせた。	臨時職員賃金　2383,396円　旅　費　32,000円 需用費　381,291円　負担金　10,000円 償還金　944,000円 共済費　377,377円 役務費　115,175円 報償費　86,400円 委託料　22,568円	3,895組（親3,411名　子4,433名）	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）		事業の継続	子育て支援には必要な施設であり、リピーターが増えるような魅力ある行事等を考えて行くことが大事である。
					指標②														
			H28年度	4,352,207	指標③														
			H29年度	4,407,000	指標①	利用者延べ人数	8,000	名	H30.3										
10	一時預かり事業	保護者や家族の病気、不定期に仕事をするなど、家庭での保育が困難になったときに、満1歳児以上就学前までの子を一時的に預かる。	H27年度	2,309,579	指標①	一時預かり利用日数	350	日	H29.3	299	439	指標値を達成し事業効果があった	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育又は保護者の疾病や家族の疾病による付き添い等緊急時の一時的な保育のため、一時預かり事業を行うことにより、児童の福祉の向上が図られた。	臨時職員賃金　3,268,789円	利用児　3歳児未満　439日	指標値を達成し事業効果があった		事業の継続	子育て支援には必要な事業であり、緊急的なセーフティーネットとしての役割を担う必要がある。
					指標②														
			H28年度	3,268,789	指標③														
			H29年度	3,074,000	指標①	一時預かり利用日数	350	日	H30.3										
11	放課後児童健全育成事業	保護者が昼間就労・留守などにより保育が出来ない小学生の児童を対象に、適正な遊び場及び生活の場を与え、児童の健全育成と福祉増進を図る。	H27年度	29,487,241	指標①	学童保育所利用者数	140	名	H29.3	148	153	指標値を達成し事業効果があった	保護者が昼間就労・留守などにより保育が出来ない小学生の児童の健全育成と福祉増進を図られた。	臨時・嘱託賃金　25,495,246円 共済費　3,464,647円 需用費　1,941,516円 役務費　306,725円 委託料　195,069円 旅費　7,500円	美幌小学校　56名 東陽小学校　64名 旭小学校　33名	指標値を達成し事業効果があった	保護者アンケートにおいて、6年生までの受け入れを行って欲しいという要望が多ければ、対応に向けて検討して欲しい。	事業の継続	今後も小1の壁や待機児童をつくらないことが大事である。
					指標②														
			H28年度	31,410,703	指標③														
			H29年度	32,339,000	指標①	学童保育所利用者数	140	名	H30.3										

No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額		③ 本事業における重要業績評価指標（KPI）					④ 本事業前の実績値	⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 事業効果（⑤）の評価理由（具体的に）※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由（原因）等についても記載願います	⑦ 事業費総額（①）の内訳 ※「〇〇委託料：〇〇円」等の内訳を記載願います	⑧ 指標値に対するH28実績値の内容	⑨ 外部有識者からの評価		⑩ 実績値を踏まえた事業の今後について	
			過年度	実績額	指標		指標値	単位	目標年月	H27実績値	H28実績値	事業効果				事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
			後年度	予算額															
12	子育て世帯・若年者支援対策事業 ↓ 子育て世帯応援事業	①高校生以下の子どもを養育している方 プレミアム率55%の商品券5,500円（スマッピーカードチャージ額10,000円）×743セット ②18歳以上30歳未満の若者 プレミアム率55%の商品券5,500円（スマッピーカードチャージ額10,000円）×157セット ↓ 高校生以下の子どもを養育している世帯に対し、プレミアム率50%の商品券を発行。 （スマッピーカードチャージ額10,000円で5,000円分の商品券）	H27年度	7,889,211	指標①	商品券利用率	95	%	H29.3	99.2	99.9	指標値を達成し事業効果があった	町内商店の利用を促すため、プレミアム商品券を発行。 99.9%の利用率からも、十分な消費喚起及び子育て世帯等への支援が図られた。	子育て世帯等応援事業補助金：2,248,000円		指標値を達成し事業効果があった		事業の継続	商店街の活性化により、商工業者の所得向上が図られるとともに、子育て世帯への支援により、経済的負担の軽減が図られるため。
					指標②														
			H28年度	2,248,000	指標③														
			H29年度	3,000,000	指標①	商品券利用率	95	%	H30.3										
14	子育て世帯禁煙サポート補助事業	禁煙の取組を促し、たばこの害から治療者本人及び同居する子どもの健康を守るため、子育て世帯の喫煙者に対し、禁煙治療に要する費用の一部を補助	H27年度	29,600	指標①	補助対象者数	20	人	H29.3	3	7	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	子育て世帯の喫煙者へ禁煙を促し、治療者本人と家族の受動喫煙による健康被害を防いだ。また、母子手帳交付時に喫煙の影響と補助事業の説明などにより禁煙への動機付けと啓発が図られた。 （実績値が指標値を下回った理由） ・補助対象となる若い世代は健康に対する関心が低く、習慣的な喫煙者の多くは依存症であり、禁煙の動機付けが難しい。禁煙促進には地域全体として禁煙意識の醸成が必要であり、長期的な取り組みが必要。	子育て世代禁煙サポート補助金：53,300円	補助者数7名（@7,614円）＊上限10,000円	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	煙草の害から子どもの健康を守ることについては賛同するが、本人の意志によるものが大きいもの対し、補助金出してまでこの事業を実施することには疑問を感じる。また、補助を受けた実施者には、広報などでその過程やメリットなどの体験談を語ってもらうなどの責務を課し、PR推進になってもらうとともに、喫煙に戻らない工夫を行ってはどうか。	事業の継続	依存症対策は本人の強い意志と支援が効果的に実施されることが必要であり、長期間にわたる取り組みを要する。 補助申請者は増加してきていることから、あらゆる機会を通じて喫煙がもたらす健康被害や禁煙についての啓発を継続して行う。 （取組内容予定） ・幼稚園、保育所等の子育て支援機関、図書館、社会教育施設でのポスター掲示やチラシ配布はもとより、妊娠届出時、乳幼児健診、妊婦教室や両親学級、特定健診、がん検診時での周知 ・健康教育、地域での講話、町のイベント会場において周知 ・町内小学校6年生を対象とするたばこの健康教育の実施 ・町内民間事業所訪問による周知など実施しているが、今後も機会を捉えさらに周知徹底していく。
					指標②														
			H28年度	53,300	指標③														
			H29年度	200,000	指標①	補助対象者数	20	人	H30.3										
15	乳幼児等医療費助成制度	乳幼児等の医療費に対し、保険制度が7割（8割）・北海道が１割（2割）・美幌町が0．５割を負担し、保健の向上と福祉の増進及び子育て世帯への経済的支援を行う。	H27年度	24,886,968	指標①	乳幼児医療費受給者数（医療証の受給者数）	869	人	H29.3	897	882	指標値を達成し事業効果があった	病気やケガ等により、病（医）院への受診者が増えたため。（子どもの実数が増えた訳ではない。）	消耗品費 46,653円 印刷製本費 68,040円 扶助費 23,853,634円	小学生以下 879人 中学生 3人	指標値を達成し事業効果があった		事業の継続	乳幼児の保健福祉向上及び子育て世帯の経済的支援を長期的に要望する住民意向があるため。
					指標②														
			H28年度	23,968,327	指標③														
			H29年度	26,811,000	指標①	乳幼児医療費受給者数（医療証の受給者数）	811	人	H30.3										